

ふるさと学習で防災について学んだ6年生が、能登半島地震で被災された方々に向けてメッセージを作成しました。ぜひご覧ください。

下記は、「NHK金沢 能登半島地震 被災地つながるメッセージ」に送ったメッセージです。

被災に遭われた皆様へ

私たちは、香川県に住む高松市立川岡小学校の6年生です。

テレビや新聞での報道を通して、被災地の皆様が協力して避難したこと、避難所で励まし合って過ごされていること、声を掛け合って復興に向けて動き出していることを知り、改めて人々の温かさや協力することの大切さを実感しました。

私たちは今、ふるさと学習として、地震の被害から防災の大切さを学び、地域の方と一緒に防災に取り組もうと、地域の皆さんに伝える活動をしています。その中でも特に「共助」の観点を大切にして、人と人がつながるためのプロジェクトを立ち上げ、活動を行いました。

僕たちの住む地域でも、南海トラフ地震が近い将来起きると言われています。そんなとき、皆様の地域の方々のように「共助」ができるように、私たちも今できることを探してがんばります。

復興に向けて日本全体で動いています。私たちにできることは限られていますが、私たちも精一杯がんばるので、皆様もがんばってください。皆様に笑顔が戻り、いつもの日常が少しでも早く戻ることを祈っています。

高松市立川岡小学校6年生一同

※ また、川岡のつどいの際、ご来場頂いた地域の方や保護者の方、教職員に能登半島地震災害支援募金をおこないました。募金額は、62740円となりました。

ご協力頂き、ありがとうございました。

「公益社団法人 日本PTA全国協議会」に寄付させて頂きました。